



第2回遠野市進化まちづくり検証委員会

平成25年8月22日 岩手県遠野市

遠野市の概要

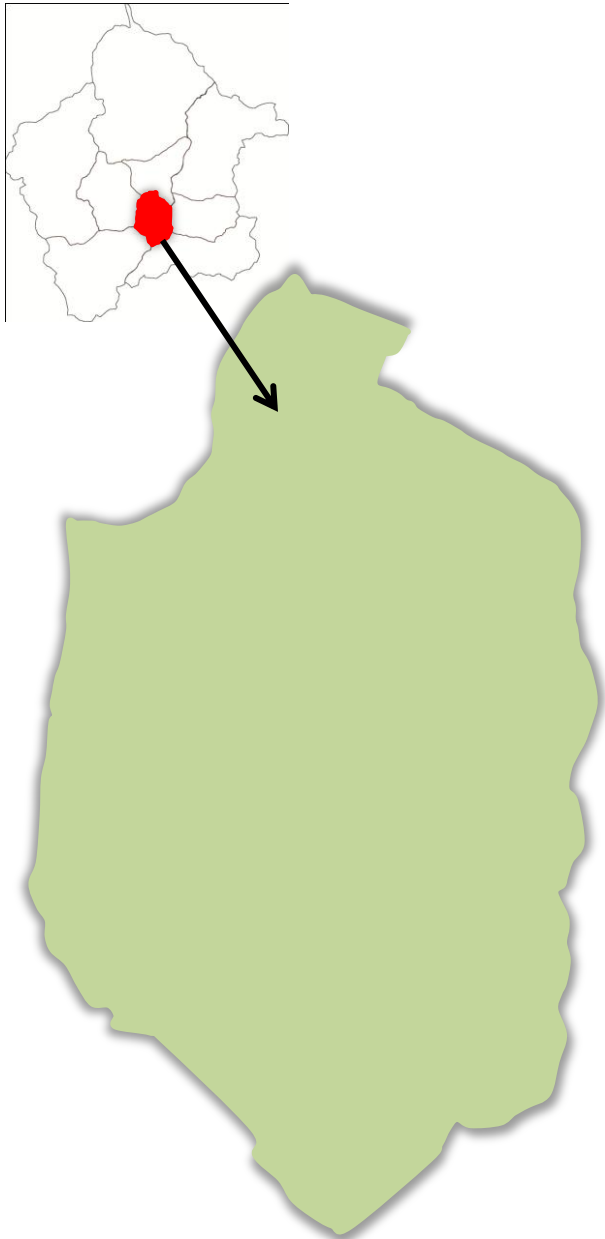




遠野市



面積	825.62K㎡		
行政区数	90行政区		
自治会数	114自治会		
人口	H25	H35	H45
	29,557人 → 24,771人 → 20,590人		
高齢人口（65歳以上）	10,210人(34.54%) 9,601人(38.76%) 7,968人(38.70%)		
生産年齢人口（15—64歳）	16,126人(54.56%) 12,444人(50.24%) 10,250人(49.78%)		
年少人口（0—14歳）	3,221人(10.90%) 2,726人(11.00%) 2,372人(11.52%)		
世帯数	10,832世帯（H25.4末現在）		
	65歳以上 一人暮らし世帯 1,871世帯 二人暮らし世帯 1,184世帯		



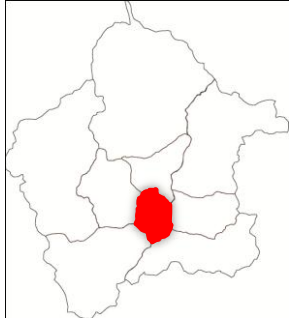
遠野町

面積	17.90Km ²		
行政区数	15行政区		
自治会数	15自治会(行政区に同じ)		
人口	H25	H35	H45
	8,060人	→ 7,026人	→ 5,886人
高齢人口 (65歳以上)	2,593人(32.2%) 2,486人(35.4%) 2,055人(34.9%)		
生産年齢人口 (15—64歳)	4,460人(55.3%) 3,697人(52.6%) 3,138人(53.3%)		
年少人口 (0—14歳)	1,007人(12.5%) 843人(12.0%) 693人(11.8%)		
世帯数	3,379世帯		
公共施設	市役所、市民センター、県遠野地区合同庁舎、図書館、博物館、警察署、遠野商工会、観光交流センター、郵便局2カ所、小学校、保育園2カ所、幼稚園2カ所、児童館1カ所、障害者支援施設、消防屯所7カ所、病院8カ所、JR遠野駅		



各町の概要 遠野町

進化し続ける “まちづくり”
地域総合力で 元気再生



JR遠野駅
とびあ庁舎
まちおこしセンター・遠野商工会
観光交流センター

聖光幼稚園

神明保育園

市民センター
あえりあ遠野
図書館・博物館

県遠野地区
合同庁舎

11区

13区

下早瀬屯所

12区

上早瀬屯所

2区

1区

8区

新殺町屯所

上組町屯所

6区

7区

5区

3区

14区

9区

4区

10区

下組町屯所

殺町屯所

大日地区屯所

15区

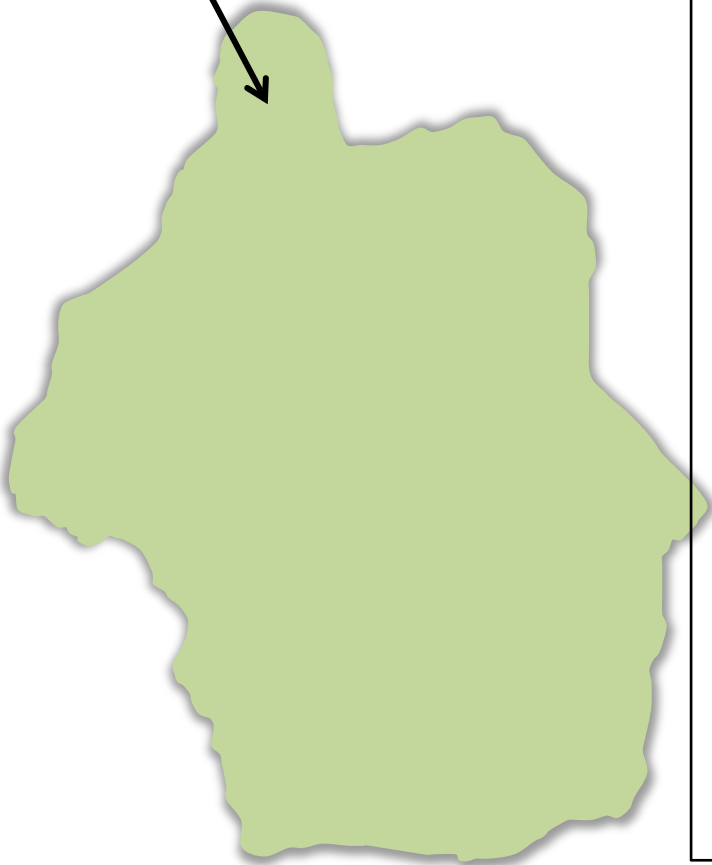
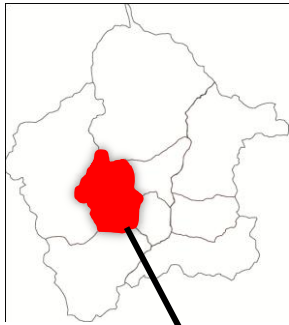
障害者支援施設

遠野保育園

光の園
幼稚園

市役所本庁舎

小学校
児童館
警察署



綾織町

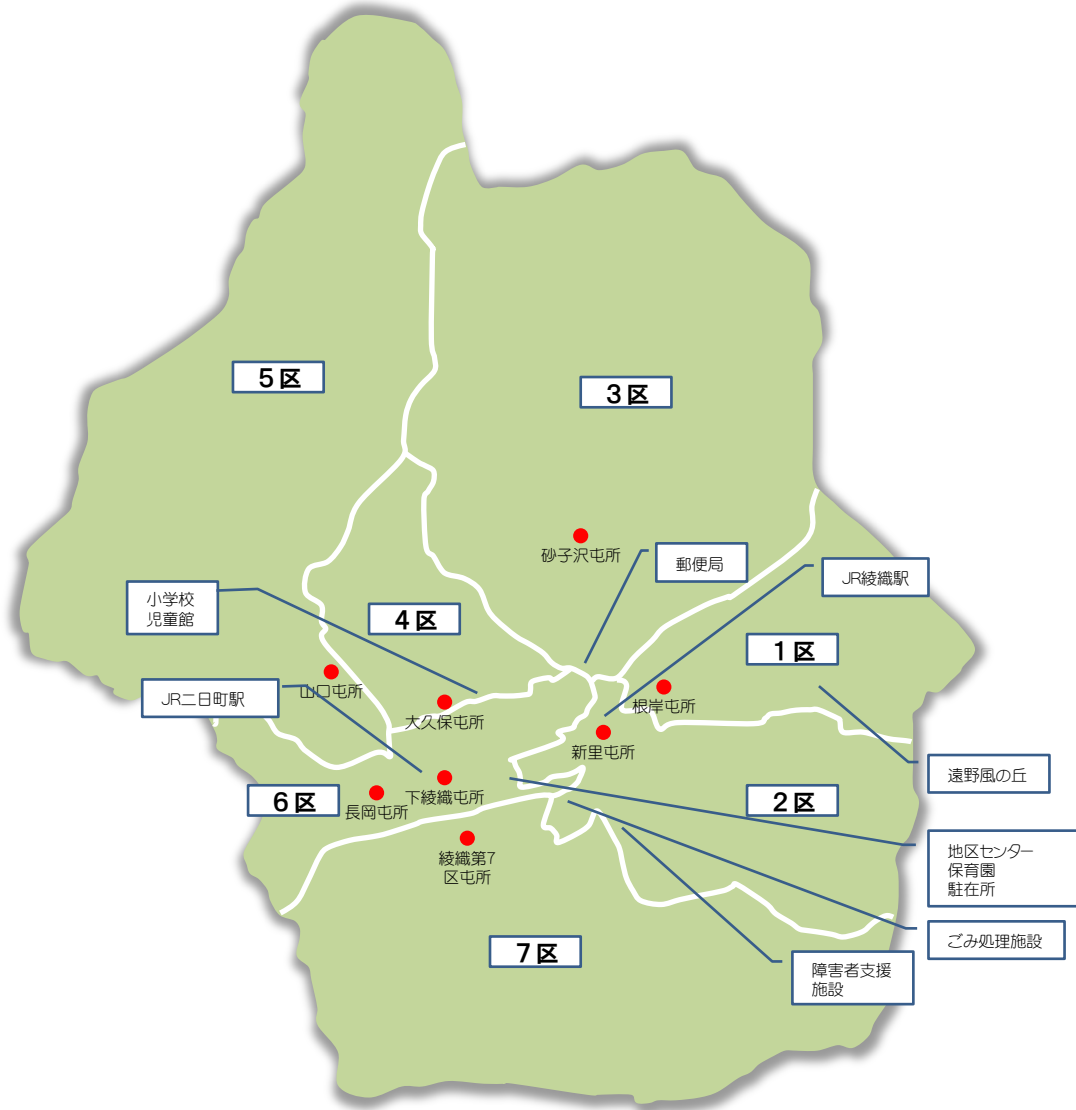
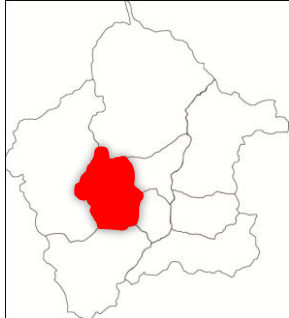
面積	57.13Km ²		
行政区数	7行政区		
自治会数	20自治会		
人口	H25	H35	H45
	1,803人 → 1,465人 → 1,229人		
高齢人口（65歳以上）			
	620人(34.4%)	594人(40.5%)	493人(40.1%)
生産年齢人口（15—64歳）			
	990人(54.9%)	703人(48.0%)	584人(47.5%)
年少人口（0—14歳）			
	193人(10.7%)	168人(11.5%)	152人(12.4%)
世帯数	607世帯		
公共施設	綾織地区センター、小学校、児童館、保育園、交番、郵便局、消防屯所8カ所、道の駅、知的障がい者福祉施設、ごみ処理施設、JR綾織駅、JR二日町駅		



各町の概要

綾織町

進化し続ける “まちづくり”
地域総合力で 元気再生



小学校
児童館

JR二日町駅

5区

4区

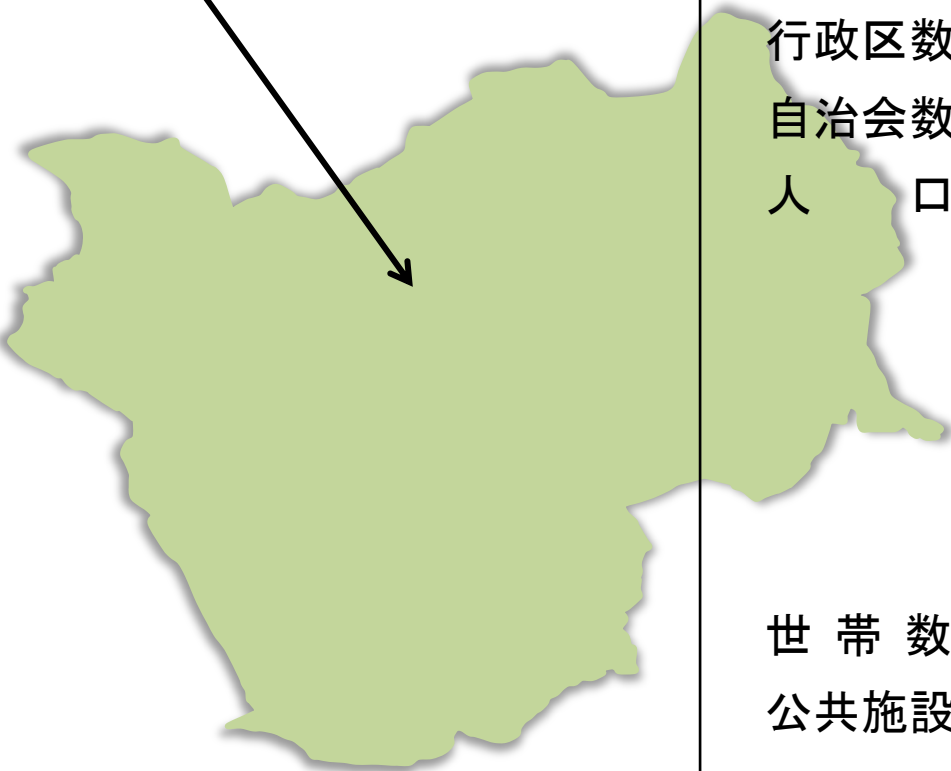
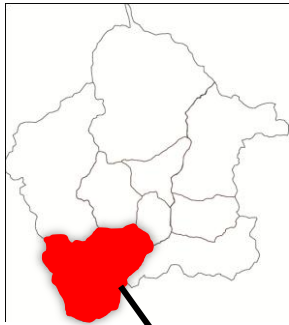
6区

7区

3区

1区

2区



小友町

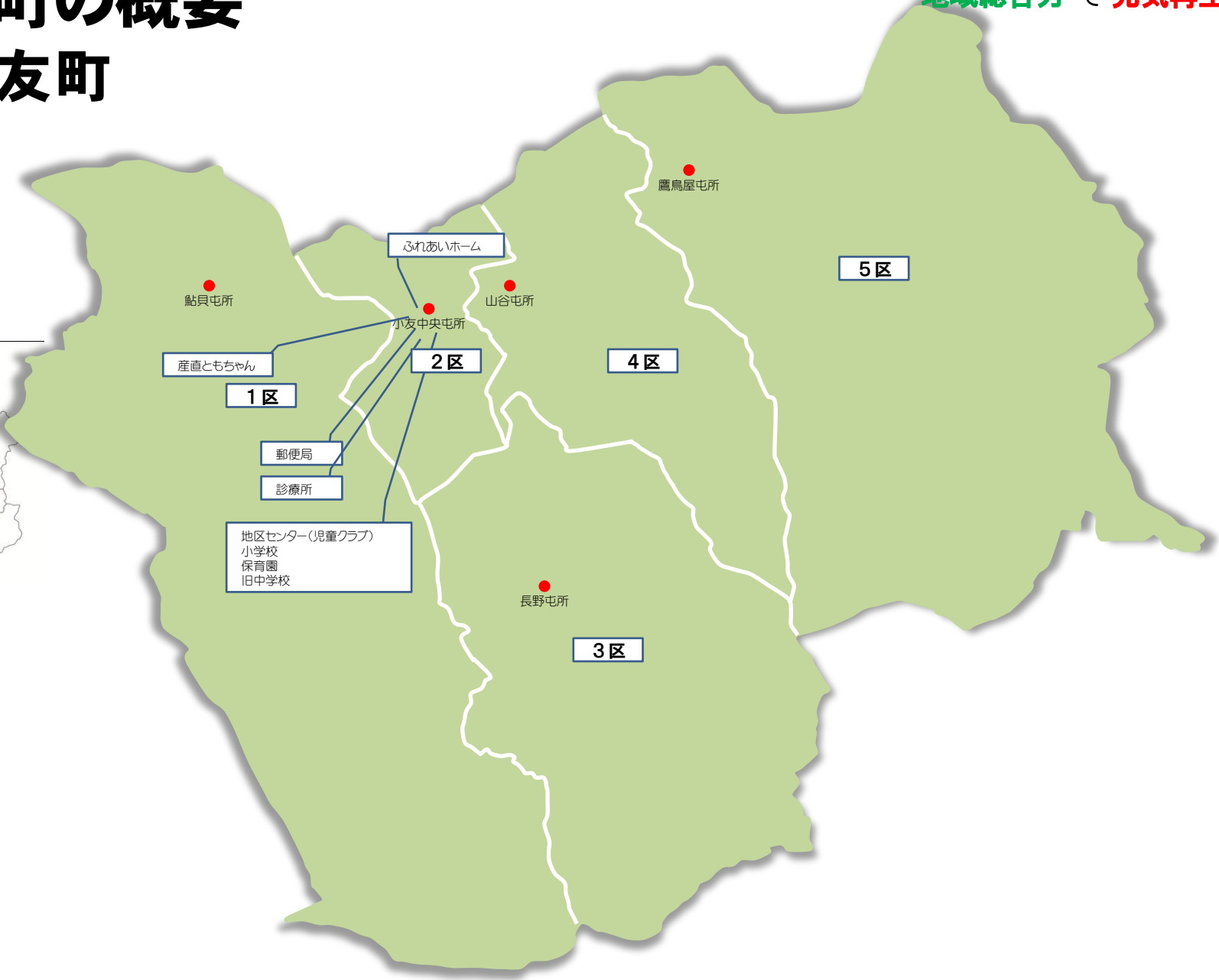
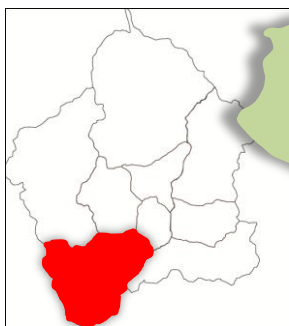
面積	102.14K㎡		
行政区数	5行政区		
自治会数	5自治会(行政区に同じ)		
人口	H25	H35	H45
	1,443人	→ 1,149人	→ 930人
高齢人口 (65歳以上)	541人(37.5%) 504人(43.9%) 410人(44.1%)		
生産年齢人口 (15—64歳)	785人(54.4%) 542人(47.2%) 424人(45.6%)		
年少人口 (0—14歳)	117人(8.1%) 103人(8.9%) 96人(10.3%)		
世帯数	467世帯		
公共施設	小友地区センター、小学校、児童クラブ、保育園、郵便局、診療所、消防屯所5カ所、産直施設、ふれあいホーム		

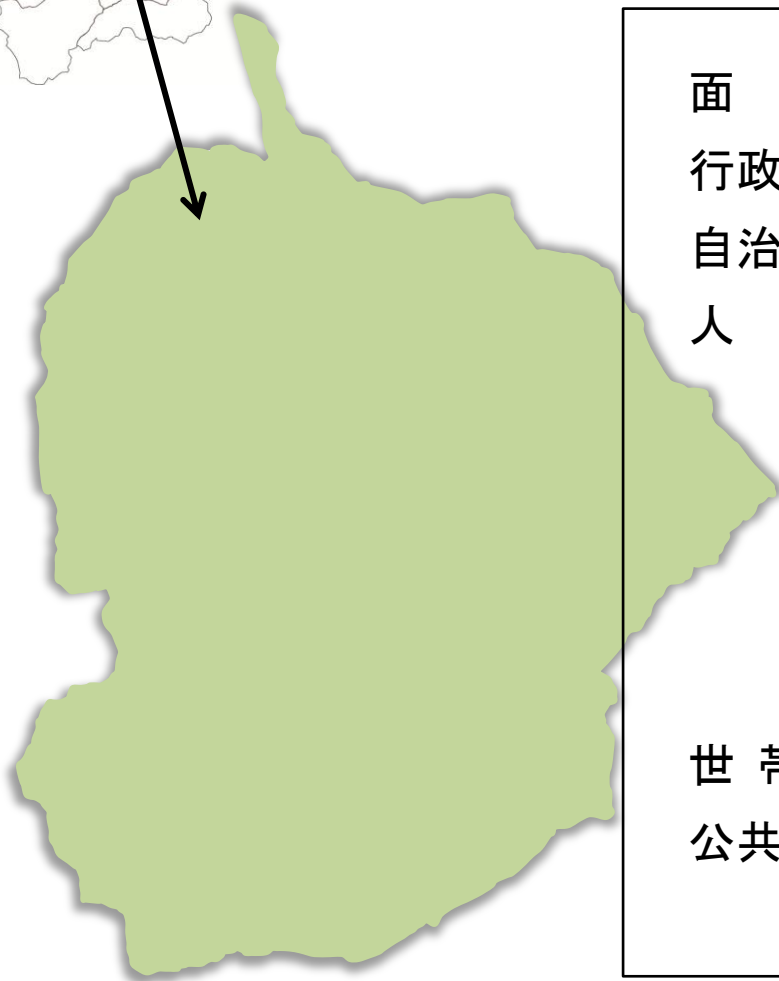
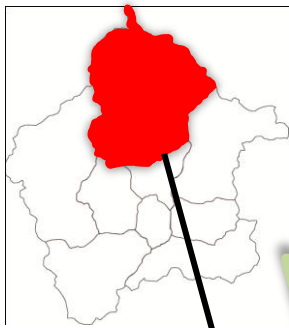


各町の概要

小友町

進化し続ける “まちづくり”
地域総合力で 元気再生





附馬牛町

面積	202.67K㎡		
行政区数	7行政区		
自治会数	8自治会		
人口	H25	H35	H45
	1,409人	→ 1,131人	→ 920人

高齢人口（65歳以上）

531人(37.7%)	449人(39.7%)	355人(38.6%)
-------------	-------------	-------------

生産年齢人口（15—64歳）

733人(52.0%)	552人(48.8%)	451人(49.0%)
-------------	-------------	-------------

年少人口（0—14歳）

145人(10.3%)	130人(11.5%)	114人(12.4%)
-------------	-------------	-------------

世帯数 468世帯

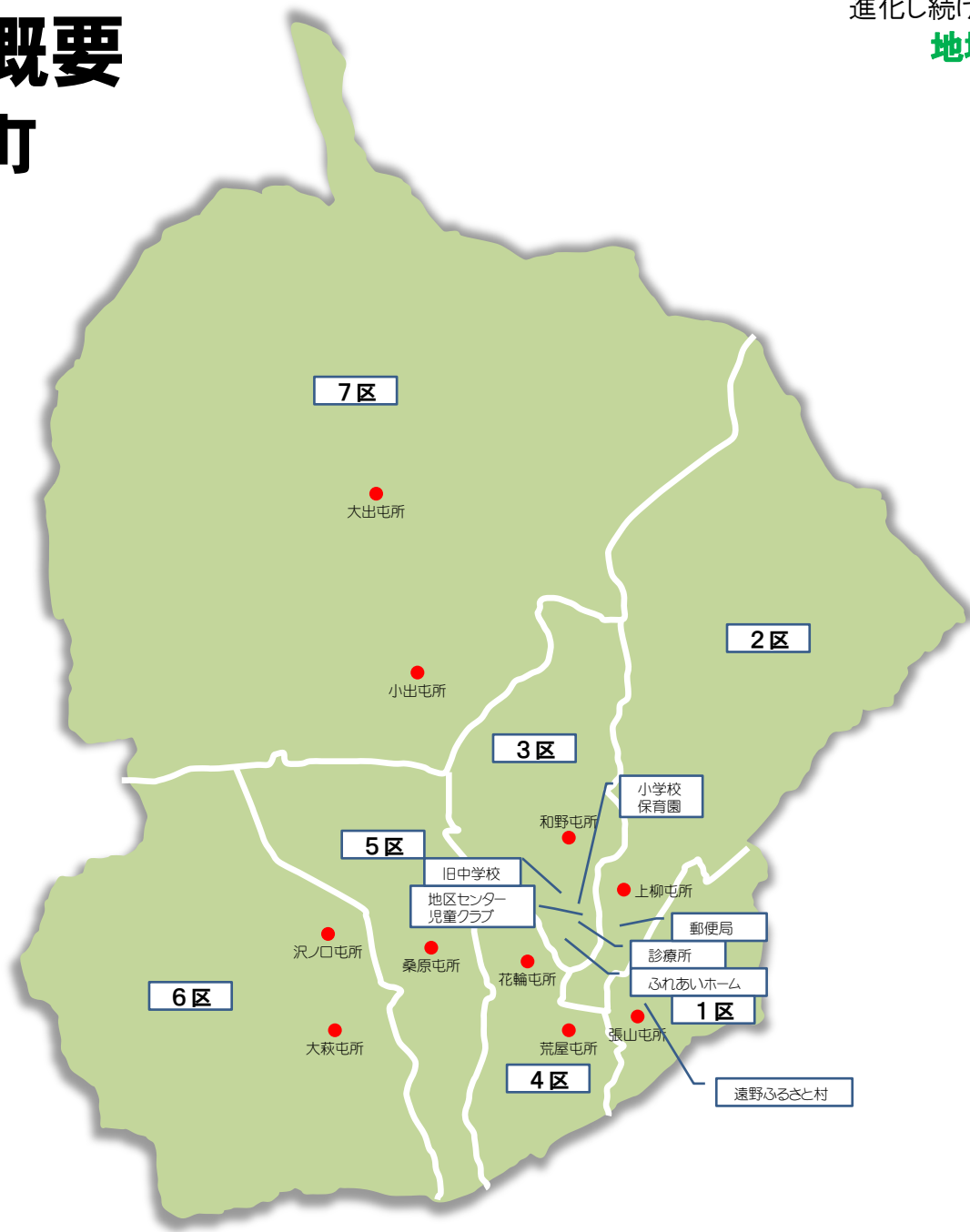
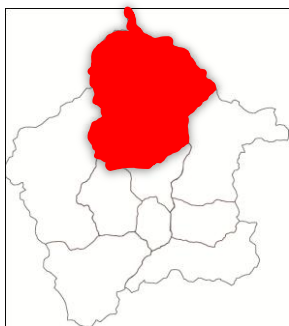
公共施設 附馬牛地区センター、小学校、児童クラブ、保育園、郵便局、診療所、消防屯所10カ所、ふれあいホーム

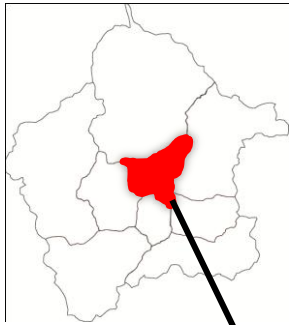


各町の概要

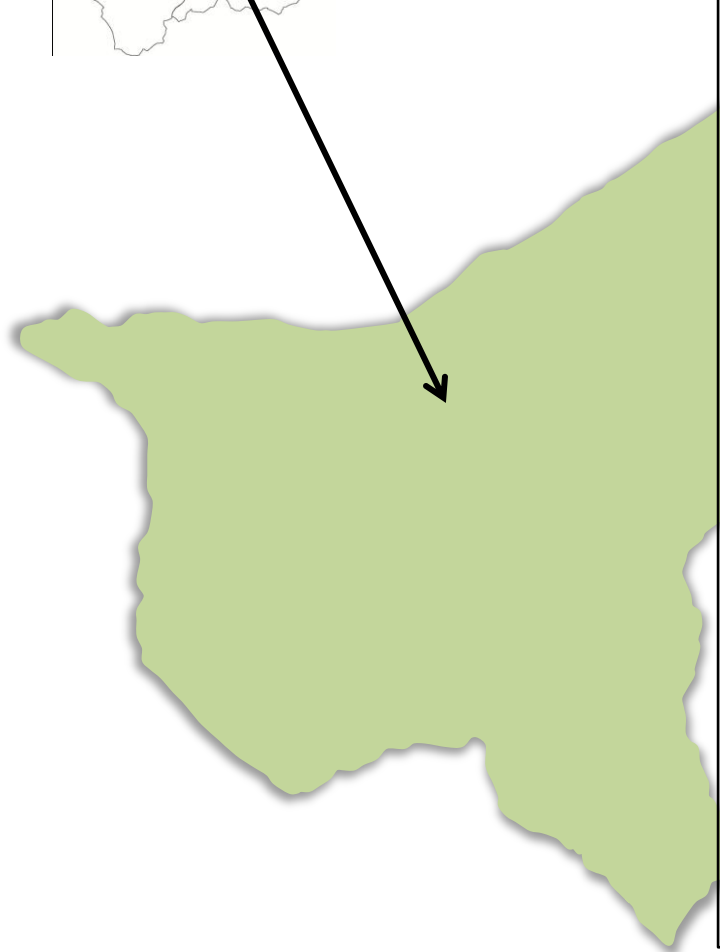
附馬牛町

進化し続ける “まちづくり”
 地域総合力 で 元気再生





松崎町



面積	34.75Km ²		
行政区数	8行政区		
自治会数	8自治会(行政区に同じ)		
人口	H25	H35	H45
	4,454人	→ 3,886人	→ 3,267人

高齢人口 (65歳以上)			
	1,397人(31.4%)	1,374人(35.4%)	1,202人(36.8%)

生産年齢人口 (15—64歳)			
	2,512人(56.4%)	2,057人(52.9%)	1,694人(51.9%)

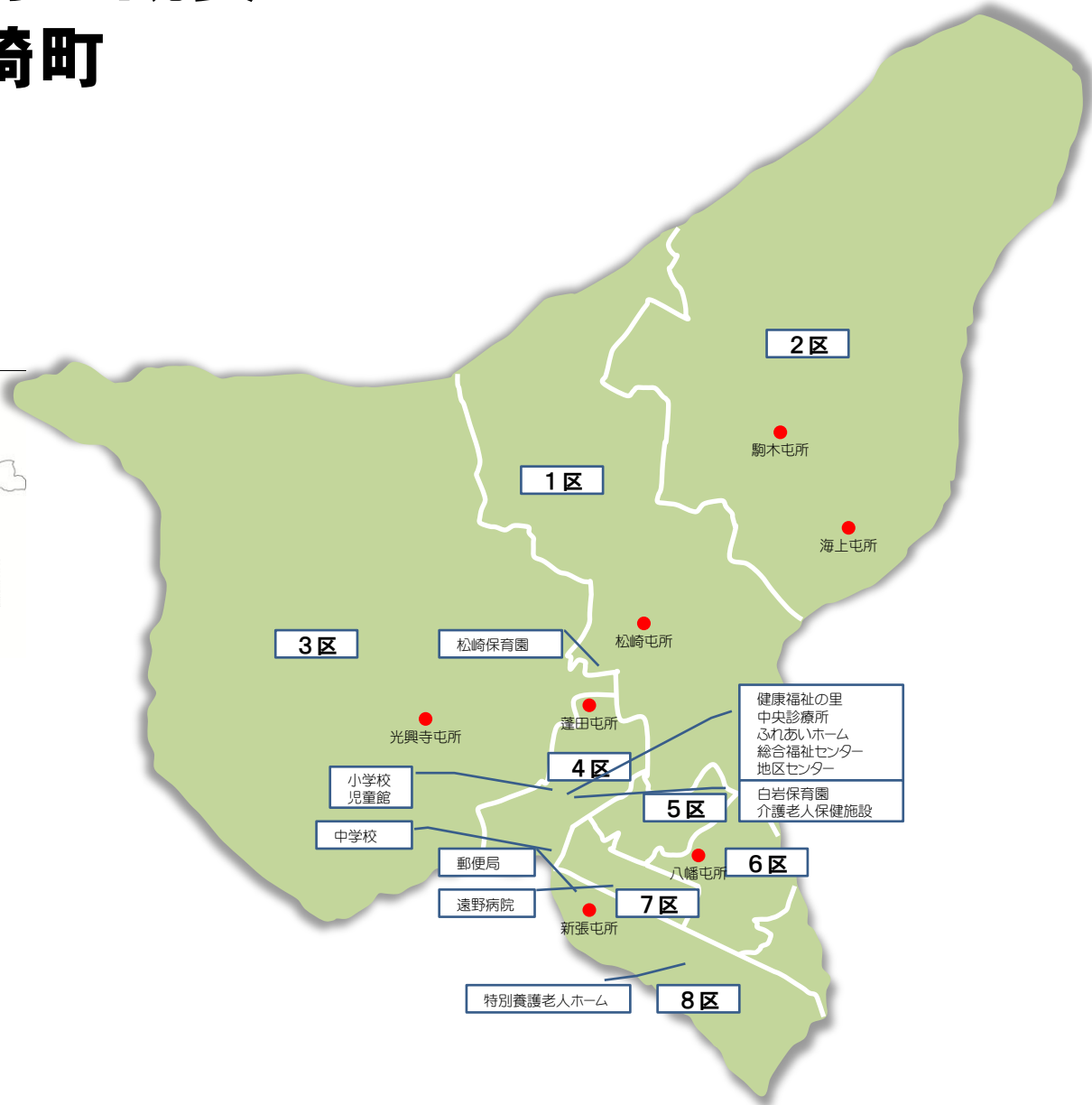
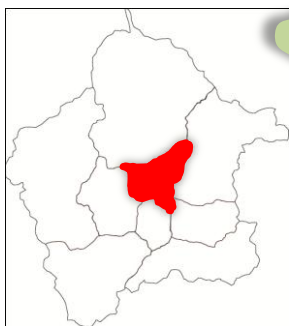
年少人口 (0—14歳)			
	545人(12.2%)	455人(11.7%)	371人(11.3%)

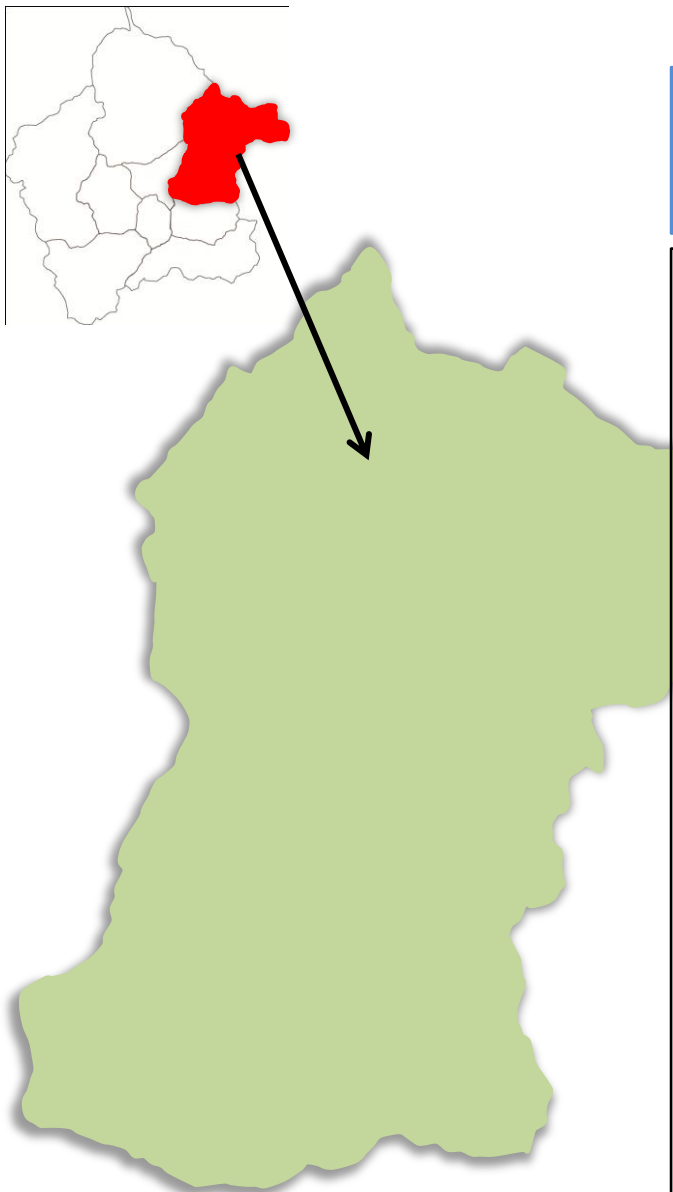
世帯数 1,701世帯

公共施設 遠野健康福祉の里、総合福祉センター、松崎地区センター、中学校、小学校、児童館、保育園、郵便局、中央診療所、県立遠野病院、消防屯所7カ所、ふれあいホーム、特別養護老人ホーム長寿の郷、老人保健施設

各町の概要

松崎町





土淵町

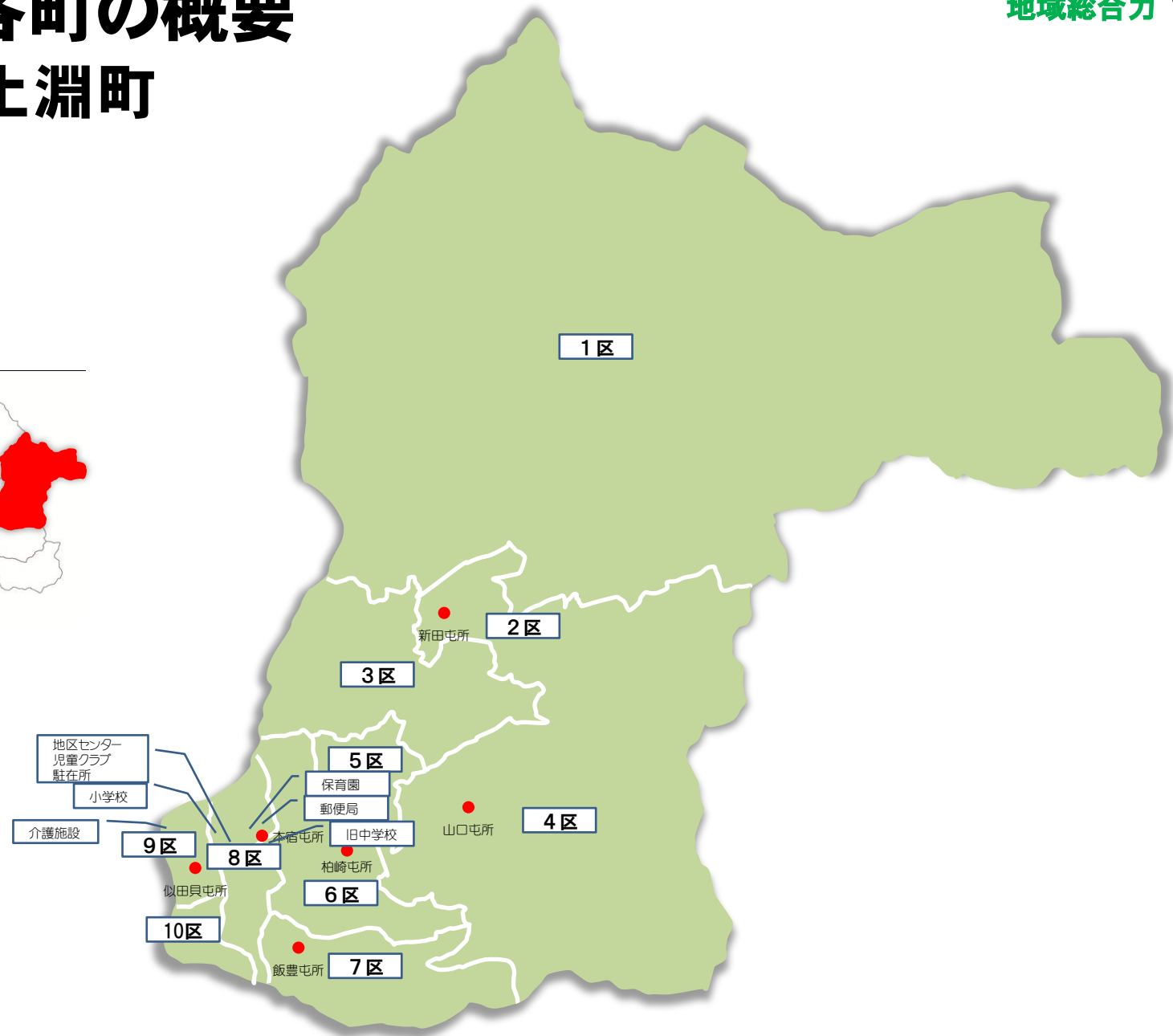
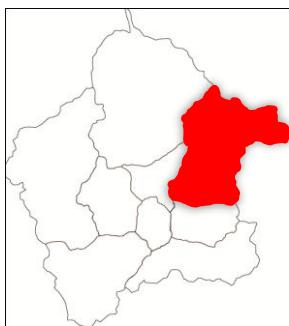
面積	119.61Km ²		
行政区数	10行政区		
自治会数	16自治会		
人口	H25	H35	H45
	2,287人	→ 1,866人	→ 1,531人
高齢人口（65歳以上）	831人(36.3%)	785人(42.1%)	660人(43.1%)
生産年齢人口（15—64歳）	1,243人(54.4%)	897人(48.1%)	696人(45.5%)
年少人口（0—14歳）	213人(9.3%)	184人(9.8%)	175人(11.4%)
世帯数	729世帯		
公共施設	土淵地区センター、小学校、児童クラブ、保育園、郵便局、交番、消防屯所6カ所、高齢者通所介護施設		

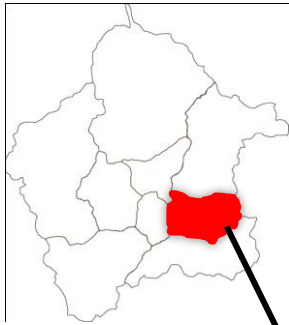


各町の概要

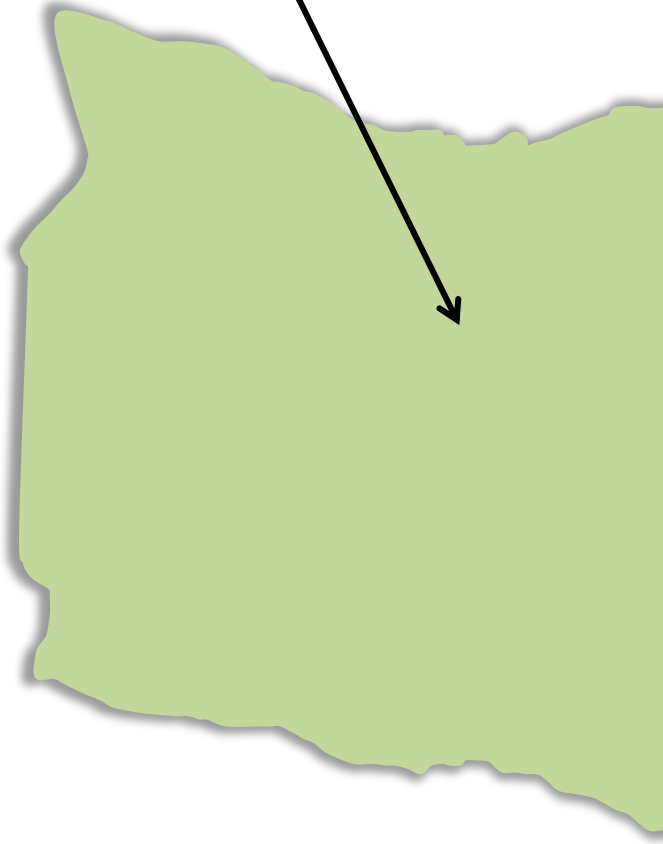
土淵町

進化し続ける “まちづくり”
地域総合力で 元気再生





青笹町



面積	28.19Km ²		
行政区数	8行政区		
自治会数	8自治会(行政区に同じ)		
人口	H25	H35	H45
	2,523人	→ 2,181人	→ 1,878人

高齢人口 (65歳以上)			
	854人(33.9%)	882人(40.5%)	744人(39.6%)

生産年齢人口 (15—64歳)			
	1,376人(54.5%)	1,054人(48.3%)	916人(48.8%)

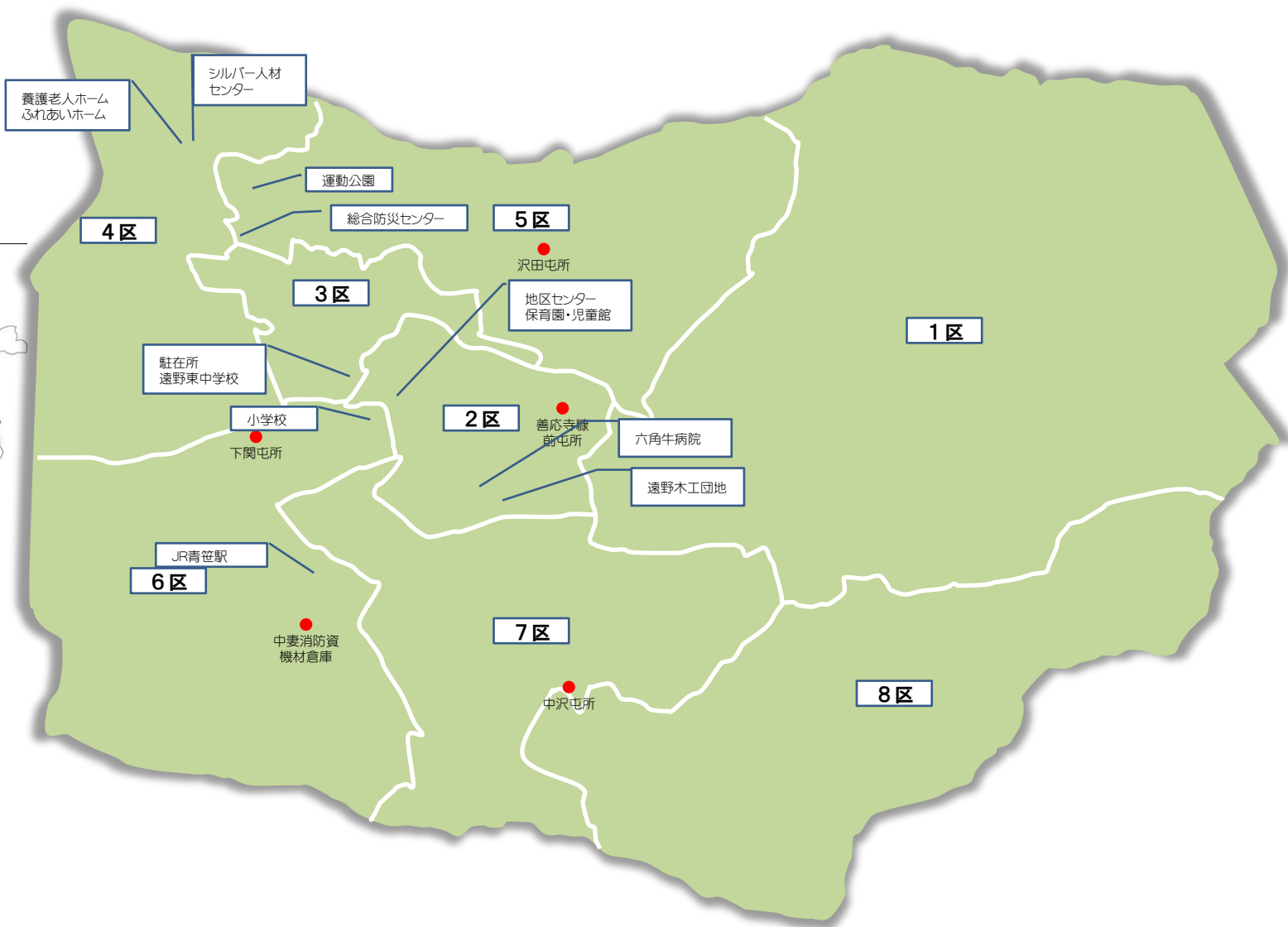
年少人口 (0—14歳)			
	293人(11.6%)	245人(11.2%)	218人(11.6%)

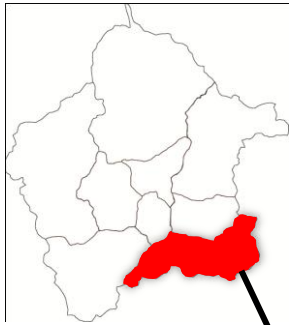
世帯数 831世帯

公共施設 青笹地区センター、中学校、小学校、児童館、保育園、郵便局、交番、総合防災センター、消防屯所5カ所、運動公園、養護老人ホーム長寿の郷吉祥園、ふれあいホーム、シルバー人材センター、JR青笹駅

各町の概要

青笹町





上郷町



面積	97.99Km ²		
行政区数	10行政区		
自治会数	16自治会		
人口	H25	H35	H45
	2,849人	→ 2,300人	→ 1,871人

高齢人口（65歳以上）

1,126人(39.5%)	1,040人(45.2%)	858人(45.8%)
---------------	---------------	-------------

生産年齢人口（15—64歳）

1,499人(52.6%)	1,071人(46.6%)	832人(44.5%)
---------------	---------------	-------------

年少人口（0—14歳）

224人(7.9%)	189人(8.2%)	181人(9.7%)
------------	------------	------------

世帯数 1,023世帯

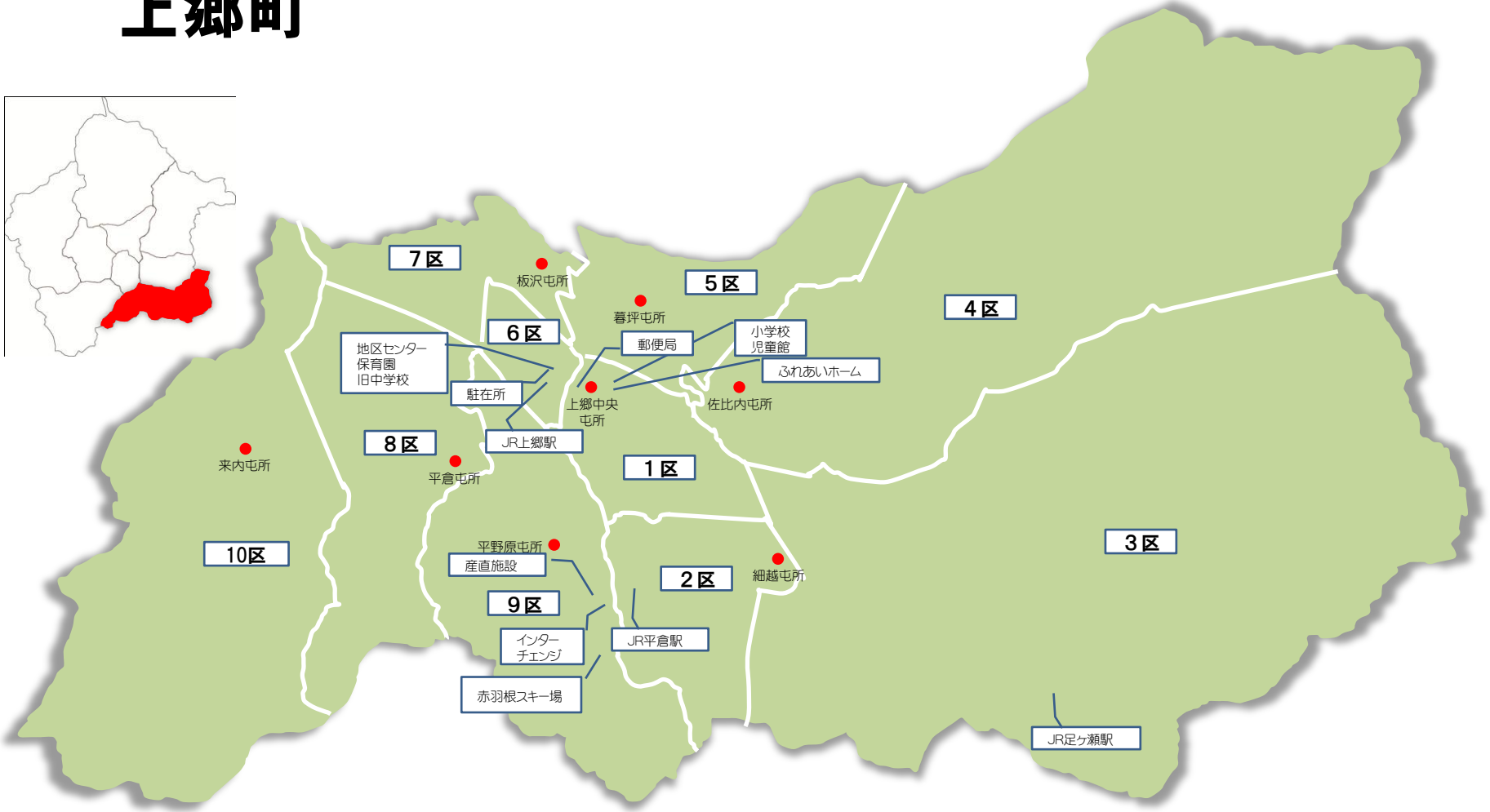
公共施設 上郷地区センター、小学校、児童館、保育園、郵便局、交番、消防屯所8カ所、ふれあいホーム、高速道路インター、JR上郷駅、JR平倉駅、JR足ヶ瀬駅

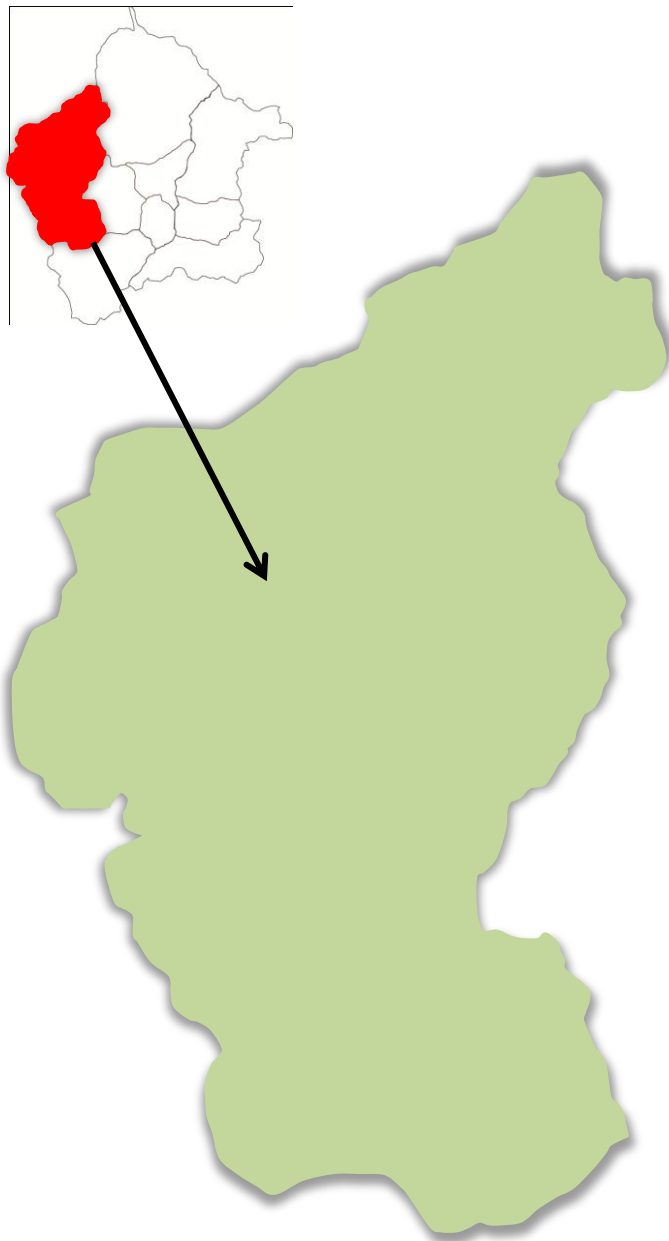


各町の概要

上郷町

進化し続ける “まちづくり”
地域総合力で 元気再生





宮守町

面積	165.24Km ²		
行政区数	20行政区		
自治会数	18自治会		
人口	H25	H35	H45
	4,729人	→ 3,767人	→ 3,078人

高齢人口（65歳以上）

1,717人(36.3%)	1,487人(39.5%)	1,191人(38.7%)
---------------	---------------	---------------

生産年齢人口（15—64歳）

2,528人(53.5%)	1,871人(49.7%)	1,515人(49.2%)
---------------	---------------	---------------

年少人口（0—14歳）

484人(10.2%)	409人(10.8%)	372人(12.1%)
-------------	-------------	-------------

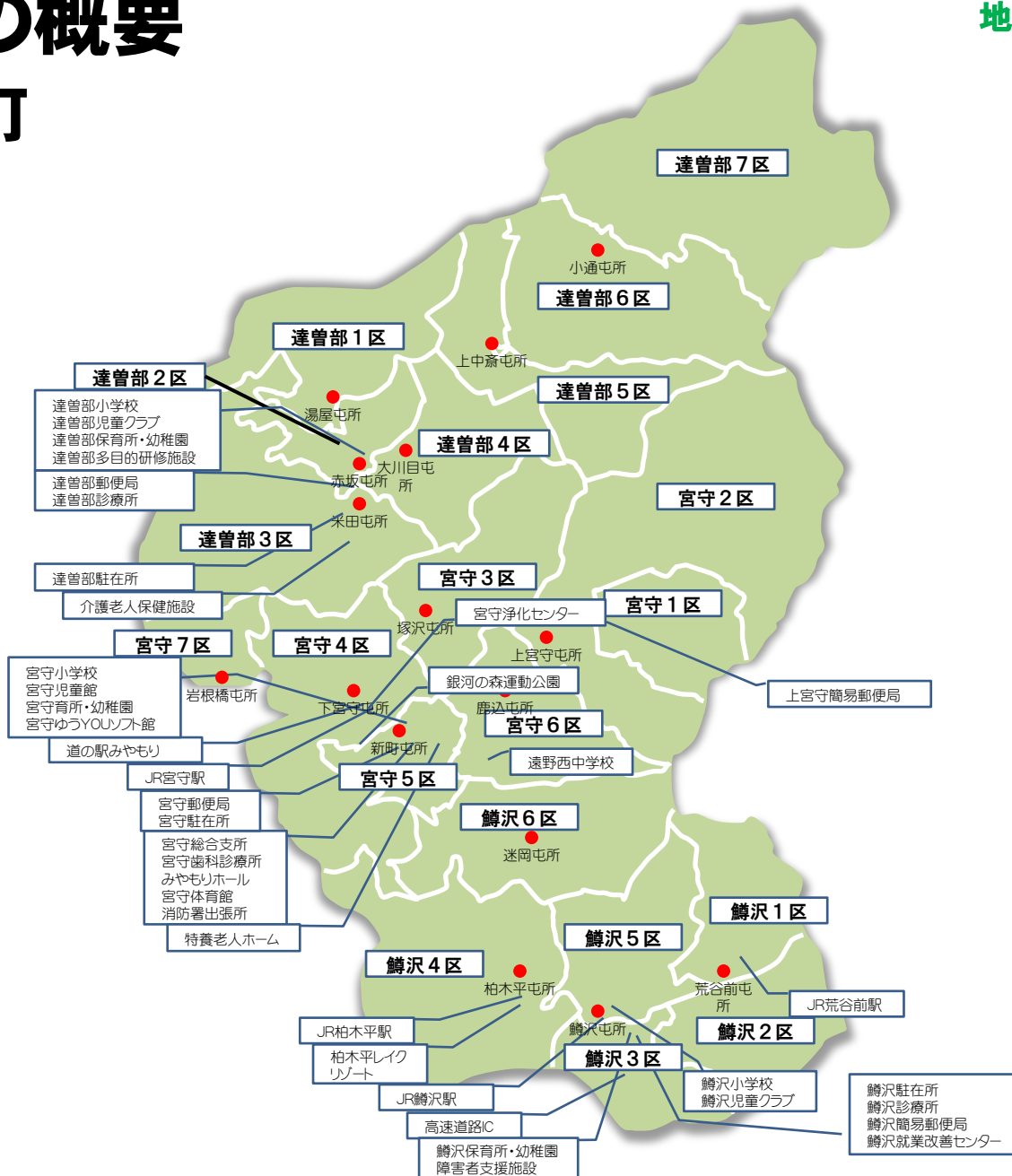
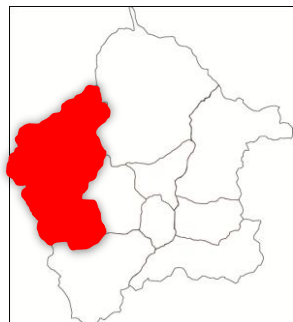
世帯数 1,627世帯

公共施設

宮守総合支所、中学校、小学校、児童館、保育園・幼稚園3カ所、郵便局、交番、消防署出張所、消防屯所16カ所、柏木平レイクリゾート、特別養護老人ホーム、身障者福祉施設、介護老人保健施設、道の駅、高速道路インター、JR宮守駅、JR荒谷前駅、JR鱒沢駅、JR柏木平駅、JR岩根橋駅 など

各町の概要

宮守町





市（市民センター・地区センター）

各町地域づくり連絡協議会

体育協会

防犯協会

交通安全協会

社会福祉協議会

婦人団体協議会

老人クラブ

民生児童委員協議会

保健推進員

交通安全母の会

母子寡婦福祉協会

自治会（行政区）

市民

市庁舎の状況



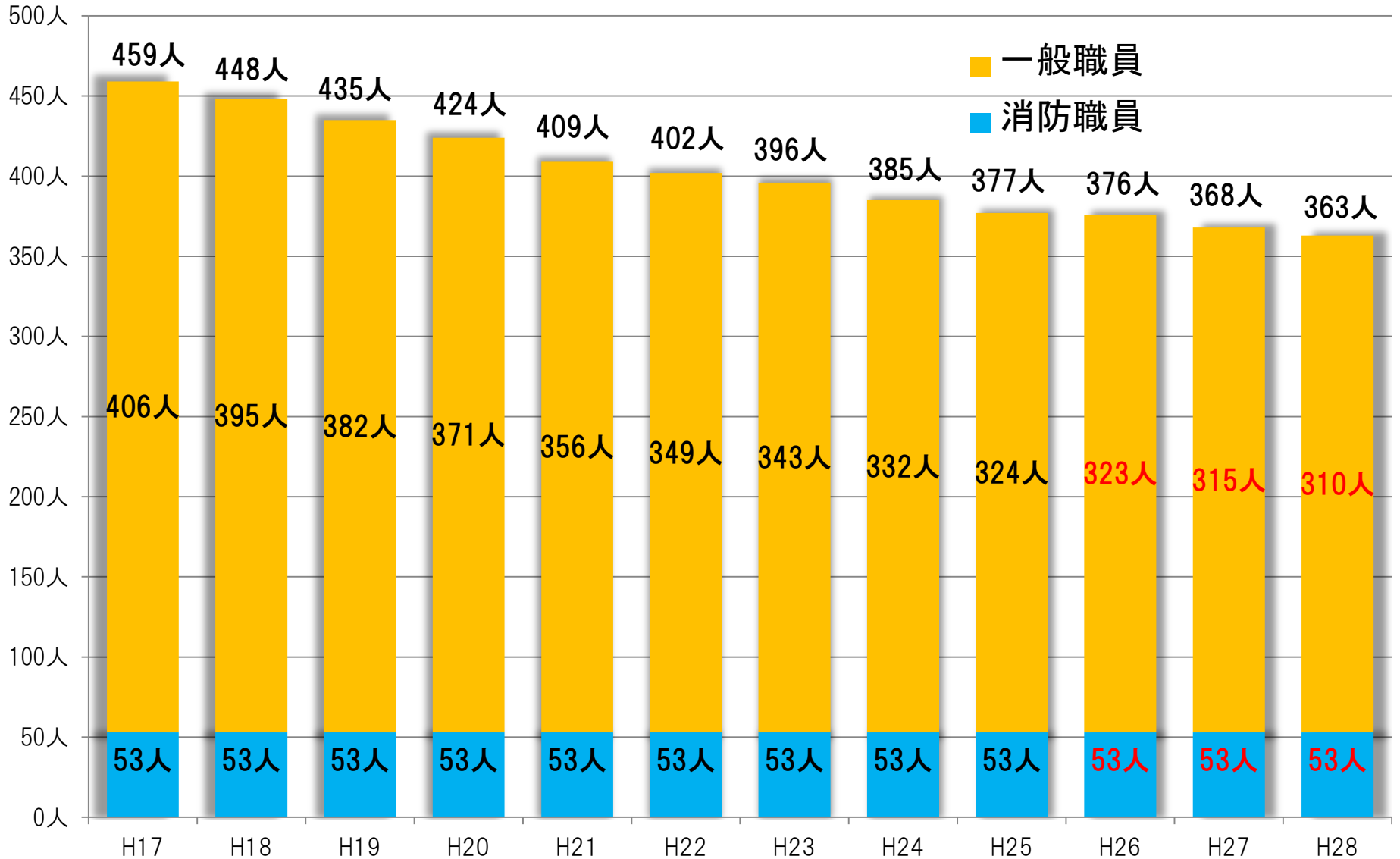
No	施設名称	開設年月	庁舎のねらい・経営・機能	庁舎機能	職員数
1	とぴあ庁舎	H23. 04	東日本大震災で被災した本庁舎中央館の機能を移転。	商業施設と併設	92人
2	市役所西館庁舎	S55. 07	平成23年度は東日本大震災の後方支援拠点。平成24年度から教育委員会、子育て総合支援センターに加えて保育協会が入居。	単独庁舎	37人
3	宮守総合支所	H17. 10	市村合併後における宮守地区の地域振興の拠点。東日本大震災で被災した議会事務局及び議場を移転。	単独庁舎	15人
4	健康福祉の里	H06. 07	保健、医療、福祉の一体的サービス拠点。診療所と介護施設を併設。社会福祉協議会等の関連団体を含めて福祉エリアを形成。	単独庁舎	74人
5	市民センター	S46. 12	市民生活部門と社会教育部門を一体化させて市民サービスを展開。市民活動推進の中心的施設。	単独庁舎	23人
6	図書館・博物館	S55. 06	全国でも珍しい図書館と博物館が併設した建物を設置。	単独庁舎	17人



No	施設名称	開設年月	庁舎のねらい・経営・機能	庁舎機能	職員数
7	文化研究センター	H24. 04	遠野郷の貴重な文化資源について調査研究を進め、その活用を図ることにより「永遠の日本のふるさと遠野」の実現を目指す。	単独庁舎	11人
8	県合同庁舎	H18. 04	老朽化が進む本庁舎東館から、建築・土木・農業関連の部課を合同庁舎に移転。県との協力体制を強化し、連携を図りながら円滑な業務を展開。	県機関との併設	65人
9	森林総合センター	H11. 04	木材の生産から加工・販売まで一連の林業関係者が結集して木工団地を形成。市の林業振興課を配置。	森林組合との併設	6人
10	遠野馬の里	H10. 03	馬産地遠野の復活、地域振興を図るため、乗用馬生産施設として開設。H24. 04から馬事振興課を配置。	馬の里との併設	2人
11	畜産振興センター	H21. 09	畜産関係団体が連携し、設置。農業共済組合が管理運営する家畜診療センターも併設。畜産振興課を配置。	畜産公社との併設	8人

No	施設名称	開設年月	庁舎のねらい・経営・機能	庁舎機能	職員数
12	まちおこしセンター	H24. 04	産業振興部と商工会とが同居。中心市街地の活性化を図るため、駅前に施設を設置。	商工会との併設	20人
13	防災センター	H24. 07	消防庁舎の老朽化により、新築移転。市の防災拠点や大規模災害時の拠点として、市消防本部・消防署を設置。	単独庁舎	41人
14	清養園クリーンセンター	S63. 04	市内のごみ類の収集及び焼却、資源ごみの選別及び保管を行う。し尿処理施設も併設。	単独庁舎	10人

市職員数の推移 (定員管理計画の実績と目標)



※ H26以降は目標値

遠野スタイルによる庁舎機能のあり方を語る市民懇話会の提言概要

1 庁舎機能のあり方を語る市民懇話会

(1) 設置目的

東日本大震災により市役所本庁舎が全壊したことで、市民サービスにどう影響しているのか、今後集約化を図るべきかなど、将来の市役所庁舎機能のあり方について市民協働で考える目的で昨年5月22日に設置しています。

(2) 組織構成

市内各団体からの推進委員40人、公募による委員5人、市若手職員5人の計50人で組織し、3つの部会に分かれて検討しました。

- ① 地域づくり団体部会 … 16人
- ② 産業振興団体部会 … 15人
- ③ 保健福祉教育団体部会 … 19人

2 提言骨子

(1) 庁舎の位置については、まちづくり、利便性、実現性等の観点から中心市街地に設置することが望ましいこと。

(2) 庁舎機能については、利便性の向上と効率的な庁舎管理を行う視点から、行政サービスと行政運営の拠点となる庁舎機能は集約することが望ましいこと。

現在のスタイルが評価されている庁舎と、課題や問題点が指摘されている庁舎とを総合的に検討頂き、さらに進化した「庁舎機能の確保」に努めていただきたいこと。

3 これまでの検討経過

会議		検討内容
平成24年5月30日(水)	第1回全体会	①趣旨説明、②座長・副座長の選出、③市役所庁舎の現状と課題、④分野別部会の進め方
6月27日(水)	第1回分野別部会	①庁舎分散状況の検証、②庁舎に望まれる機能
10月15日(月)	第2回全体会	①全体意見集約について、②各庁舎の現状について
平成25年1月24日(木)	第2回分野別部会	①庁舎に望まれる機能について(ワークショップ)
2月19日(火)	第3回分野別部会	①庁舎に望まれる機能について
3月26日(火)	第3回全体会	①全体意見集約内容について、②市民懇話会の今後の進め方について
5月27日(月)	第4回全体会	①提言内容の決定、②提言書を市長へ提出

市職員アンケート結果

質問	回答	割合
◆新庁舎を整備して分散を解消した方が良いか？	整備すべき	45.8%
	庁舎の増改築で対応できる	31.1%
◆新庁舎または庁舎の増改築により機能を集約する場合の望ましいパターン	とぴあ庁舎、西館庁舎、議会、合同庁舎、まちおこしセンターを集約	22.4%
	宮守総合支所、図書館・博物館、文化研究センターを除く全施設を集約	20.2%
	とぴあ庁舎、西館、議会、合同庁舎を集約	12.6%
◆新庁舎を整備するとした場合の場所	中央館跡地	24.7%
	市民センター駐車場	24.4%
	遠野バイパス沿い	20.5%
◆その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広い駐車場の確保、整備が必要 ・ 中心市街地活性化の視点からまちなかへの整備 ・ 窓口業務のある課は集約するなど、とぴあで用事が済ませられるような体制づくり 	

1 基本方針	市民懇話会の提言骨子を基本に整備する
2 集約する機能	健康福祉の里、宮守総合支所、市民センター、地区センター、清養園クリーンセンターを除き、できるだけすべての機能を新庁舎に集約することが理想的
3 重要と考える基本機能	<ul style="list-style-type: none">・ 情報発信機能の拠点・ ユニバーサルデザイン・ ワンストップサービス機能・ 緊急時に各部課がスムーズに連携できる体制・ 防災機能（会議室など有事の際の空間確保）
4 整備予定地	中心市街地を優先的に選定する
5 その他	付加価値を高めるため複合施設機能を検討